

馬主だより

第57号

平成25年4月9日

発行 (一社)ばんえい競馬

馬主協会事務局

☆帯広市単独開催6年目初 馬券発売額前年上回る！！

▼帯広市単独開催の“ばんえい十勝”がスタートを切り6年目の開催となる平成24年度の全日程が、先月25日を以って終了しました。▼結果、前年度より1日少ない153日間という中で6年目にして僅かではありますが、初めて前年を上回る発売額となりました。▼また、帯広競馬場の入場人員は前年比3%増で、初めて25万人を超えることとなり、全道、全国、国外からも老若男女、家族連れなど多くの人々が訪れる、単に競馬を楽しむ場所としてのみならず、十勝・帯広を代表する観光資源として定着してまいりました。この6年間で帯広競馬場の雰囲気は随分変わりました。これは他の地方競馬に負けない魅力の一つでもあります。▼これまで本当に多くのファンや関係者の皆様のご支援ご努力によって支えられ、今日を迎えることができたのだと感謝に堪えない思いです。▼ネット電話投票の伸びにより収益性は以前より悪化しているので、経営内容は依然厳しい状況に変わりありませんが、良きにせよ悪きにせよ前年を上回することは大切なことです。今後は収益改善が求められます。▼来週からはよいよ新たなシーズンがスタートします。6月には、帯広競馬場はじめ旭川、琴似、釧路、北見の直営場外発売所においてJRAの馬券発売が開始されます。また、新たに深川市にも場外発売所を開設する予定であります。▼残念ながらこれらによって大きな収支改善は臨めませんが、今は少しずつでも着実に収益を上げる施策を継続することが最も重要であります。平成25年度の開幕を目の前、皆様の愛馬のご活躍とともにばんえい十勝の飛躍を期待いたします！！

平成24年度 ばんえい競馬 発売成績(累計)

開催153日間

(株)CB 事業推進課投票グループ 資料提供

平成25年3月25日終了時

区 分	発 売 金 額							
	平成24年度			平成23年度		対 比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
本 場	153	1,650,403,800	1,655,273,000	154	2,012,139,800	99.71	82.02	
直営場外	旭川北彩都	153	1,006,211,600	981,103,000	154	1,278,014,300	102.56	78.73
	ミトスポット北見	153	493,228,300	490,434,000	154	613,969,100	100.57	80.33
	ハロズ岩見沢	153	387,848,100	376,148,000	154	488,782,200	103.11	79.35
	ハロズ釧路	153	158,262,800	154,767,000	154	189,546,600	102.26	83.50
	ハロズ名寄	153	181,652,600	180,059,000	154	230,786,500	100.89	78.71
	アプスポット網走	153	138,183,300	137,469,000	154	126,089,300	100.52	109.59
	琴似駅前	55	33,376,600	34,420,000	—	—	96.97	—
電投	オッズパーク	153	3,133,977,000	3,259,184,000	154	2,871,245,000	96.16	109.15
	七重勝	49	35,472,400	—	—	—	—	—
	五重勝	153	91,191,200	109,163,000	154	40,118,600	83.54	227.30
	競馬モール	153	1,527,656,200	1,640,973,000	154	970,089,300	93.09	157.48
広域場間場外	—	1,657,116,700	1,712,378,000	—	1,543,640,600	96.77	107.35	
場外・電投計	—	8,844,176,800	9,076,098,000	—	8,352,281,500	97.44	105.89	
合 計	153	10,494,580,600	107,731,000	154	10,364,421,300	97.79	101.26	
1日平均		68,592,030	70,139,680		67,301,437	97.79	101.26	

☆平成23年度の広域場間場外の発売額に、ハロズ苦小牧の前年の成績を含む。

会議等の様子

○ 監事監査実施 今年度理事の職務の執行状況に関して監査！

平成 25 年 3 月 9 日（土）当協会事務局会議室において、平成 24 年 4 月から平成 25 年 2 月末日までの理事の職務の執行状況に関して、事業報告書及び計算関係書類の財務諸表等に基づき監査をいたしました。

また、今後当法人の内部管理体制構築のため、新たにリスク管理規程、個人情報保護規程、監事監査規程の必要性について執行役員会において審議の結果を報告。監事にも合意を得て次回、理事会に提案することとなりました。

【平成 24 年 4 月～平成 25 年 2 月期監事監査資料】

- 資料 1 平成 24 年度事業実施報告
(平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで)見込
- 資料 2 平成 24 年 4 月～平成 25 年 2 月期決算報告 (財務諸表)
- 資料 3 当協会内部管理体制の整備に必要な規程
 - ・リスク管理規程
 - ・個人情報保護規程
 - ・監事監査規程

○ 第 7 回執行役員会開催 調教師会と確認事項について協議！

平成 25 年 3 月 16 日（土）当協会事務局会議室において第 7 回執行役員会を開催し、第 7 回理事会に提案する議案等について事前協議を行うとともに、当協会の運営と次年度開催に向け 4 月、5 月の会議等の日程について調整を行いました。

また、執行役員会において、ばんえい十勝調教師会役員と「平成 25 年度開催に係るばんえい十勝調教師会との確認事項について」打合せを行い、次年度の預託契約等に係る事項について確認。確認事項について両会合意のうえ、申し合わせを行いました。

【第 7 回執行役員会議事】

- (1) 平成 24 年度第 7 回理事会の議案について
 - (2) 平成 25 年度報償費の考え方について
 - (3) 平成 25 年度開催に係るばんえい十勝調教師会との確認事項について
 - (4) その他
 - ① 平成 24 年度決算監事監査の日程
 - ② 平成 25 年度第 1 回理事会の日程
 - ③ 第 18 回通常総会の日程
- 当日追加審議
- (5) 競走馬弔慰金の査定について

【ばんえい十勝調教師会との確認事項】

1. 預託契約等に係る事項について
 - (1) 預託契約について
 - (2) 委任状について
 - (3) 進上金について
2. 能力検査受検入きゅう馬名簿の提出について
3. 新たに競走馬を所有し預託契約を締結した新規入会者の意思確認
4. 臨時家畜市場開設について

【馬弔慰金支給対象馬】

1頭 600,000円

内 訳

(単位 ; 円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
エナジーユウシオ	8	堀内 尚敏	業務中	600,000

○ 第7回理事会開催 平成25年度事業計画、予算審議承認される！

平成25年3月16日(土)当協会事務局会議室において第7回理事会を開催いたしました。平成25年度の事業計画及び予算案について慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で承認可決されました。また、昨年4月一般社団法人に移行後、現在の制度下においては、法人自治が原則であり、裏腹に自己責任経営が求められるため、当法人のガバナンス及びコンプライアンスの重要性から内部管理体制構築のため、新たに三つの規程を制定することについて審議。リスク管理規程、個人情報保護規程、監事監査規程について、審議の結果、全会一致で承認可決されました。

また、職員の退職金規程の見直し(支給割合の減額)のため、退職金規程の改正を行いました。

なお、当該規程の制定日及び改正日並びに施行日については、いずれも平成25年4月1日とすることになりました。

【第7回理事会議事】

- 報告第1号 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について
- 報告第2号 平成24年度ブロック懇談会の日程について
- 報告第3号 平成25年度開催に係るばんえい十勝調教師会との確認事項について
- 報告第4号 平成25年度開催に関する陳情書回答について
- 議案第1号 リスク管理規程の制定について
- 議案第2号 個人情報保護規程の制定について
- 議案第3号 監事監査規程の制定について
- 議案第4号 退職金規程の改正について
- 議案第5号 平成25年度実施事業計画(案)の承認について
- 議案第6号 平成25年度収支予算書(案)の承認について
- 協議案第1号 ブロック懇談会のあり方について
- 協議案第2号 平成25年度ばんえい競馬実施方針説明会開催について
- その他 ① 代表理事会長の動向について(1月、2月、3月)
② 次回理事会及び第18回通常総会の予定について
③ 当協会表彰規程に基づく褒賞品の贈呈
- 動議議案(当日追加議案)
- 報告第5号 競走馬弔慰金給付額の決定について

情報・ご案内**○ 鈴木恵介騎手 デビュー15年で通算1,500勝達成！！**

平成25年3月9日、第10競走において今季で引退を表明しているナリタボブサップ号に騎乗して優勝。デビュー15年目にして通算1,500勝を達成しました。ばんえい史上では15人目で現役では7人目となります。おめでとうございます！！

＜鈴木恵介騎手のプロフィール＞

生年月日：1976年10月7日（36歳）

出身地：北海道茅部郡森町

騎手デビュー：1998年1月10日（ブラックワン号）

通算成績：10,072戦1,500勝（うち重賞30勝）

※2013年3月9日現在

主な重賞：2006年 第28回 帯広記念（ミサイルテンリュウ号）
2007年 第36回 ばんえいダービー（アローファイター号）
2009年 第2回 天馬賞（アローファイター号）
2010年 第22回 ばんえいグランプリ（ナリタボブサップ号）
2011年 第23回 ばんえいグランプリ（ニシキダイジン号）
2011年 第36回 ばんえいオークス（アグリコトブキ号）
2011年 第40回 ばんえいダービー（オイドン号）
2012年 第43回 イレネー記念（ニシキエーカン号）
2012年 第44回 ばんえい記念（ニシキダイジン号）
2013年 第6回 天馬賞（オイドン号）

○ **史上最強“カネサブラック号”ばんえい記念を制し有終の美飾る！！**

平成25年3月24日（日）今年度ばんえい十勝最高峰の重賞レース「農林水産大臣賞典第45回ばんえい記念」が行われ、今季で引退をするカネサブラック（牡11歳、松田道明騎手）が2年ぶり2度目の制覇。これによって、これまで名馬スーパーペガサスが持っていたばんえい競馬の通算重賞最多勝利数を21勝に塗り替える偉業を成し遂げ、名実ともにばんえい史上最強馬として有終の美を飾りました。おめでとうございます！！

○ **カネサブラック ナリタボブサップ名馬2頭引退へ！！**

平成25年3月25日（月）帯広競馬場において、今季で競走馬を引退するカネサブラック号（牡11歳）とナリタボブサップ号（牡11歳）の引退式が行われました。

引退式に集まった約100人のファンの前で、歴代の重賞競走の肩掛けをした両馬が入場し行進しました。多くのファンから「お疲れさま」「今までありがとう」とねぎらいと感謝の声を掛けられ、別れを惜しみました。

引退後は、カネサブラック号は網走市へ、ナリタボブサップ号が音更町の牧場で種雄馬として余生を過ごすこととなります。

また、引退式には臨めなかったが、両馬の同世代のスーパークリントン号（牡11歳）も芽室町で種雄馬として過ごす予定です。3頭とも本当にお疲れさまでした。そして数々の名勝負を有難うございました。

○ **日本馬事協会主催 優良農用馬生産者表彰式開催される！！**

平成25年3月24日（日）帯広市内の北海道ホテルにおいて、関係者約150人が出席し優良農用馬生産者表彰式が盛会に開催されました。当該表彰については、1998年度から日本馬事協会が生産意欲の向上と農用馬資源の確保を目的に行っているものです。

今年度の対象競走は、イレネー記念（3月10日）と黒ユリ賞（2月17日）で、日本馬事協会の小川諄副会長から受賞者の18個人1団体がそれぞれ表彰され、それぞれの受賞者全員で記念撮影を行いました。

表彰式では、来賓を代表して原田英男農林水産省生産局畜産部長、米沢則寿市長がそれぞれ祝辞を述べました。

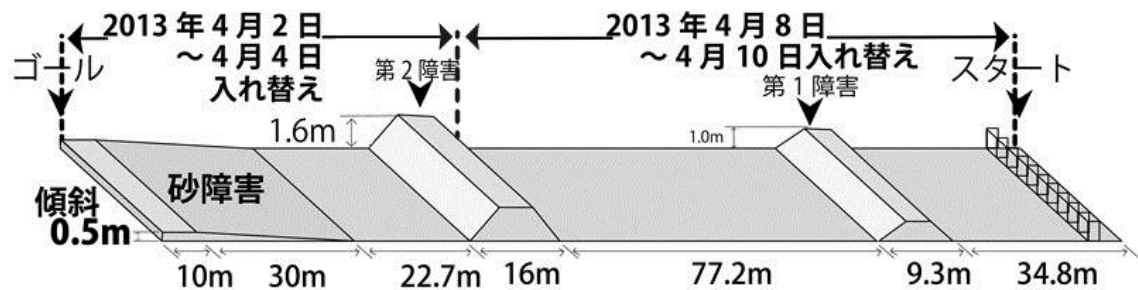
○ 帯広競馬場 コースの砂の入れ替えを行っています

現在、帯広競馬場では、3月までの昨季のレースによって摩耗した砂を入れ替えるため、改修工事を行っています。平成25年度のばんえい十勝開幕に向けてコース全面の砂を入れ替えるものです。

また、砂の入れ替えと同時に昨年同様ゴール前40m地点から30m間で0.5mの上り勾配をつけた砂障害を設置します。砂障害の設置期間は、走路凍結防止のため11月中旬までの予定。

工事期間は、2013年4月2日(火)～4日(木)は第2障害手前からゴールまで、4月7日(日)「第1回能力検査」終了後の4月8日(月)～10日(水)はスタート地点から第2障害手前まで砂の入れ替え作業を行います。

これによって平成25年度4月14日(日)の開幕からは、新しい砂のコースでのレースがスタート致します。



連絡事項

○ 定期検査以降の馬登録検査日程について

地方競馬全国協会より、定期検査以降の新馬登録検査の日程が示されました。競馬場入りゅう馬を対象に、下記日程で新馬登録検査を実施します。

記

【実施日時】(予定)

平成25年4月19日(金) 午前10時
平成25年5月10日(金) 午前10時
平成25年5月24日(金) 午前10時
平成25年6月7日(金) 午前10時
平成25年6月21日(金) 午前10時
平成25年7月5日(金) 午前10時
平成25年7月19日(金) 午前10時
平成25年8月2日(金) 午前10時
平成25年8月16日(金) 午前10時

【実施場所】

帯広競馬場装鞍所

注：検査を受ける方は、必ず調教師を通じ事前に地方競馬全国協会駐在員に申し込んでください。

レース情報

○ 重賞競走の結果

月 日	重 賞 名	馬 名	馬 主	調教師
3月10日	第44回 イレネー記念	ショウチシマシタ	細野 俊秀	久田 守
3月17日	第34回 ポプラ賞	ニュータカラコマ	佐藤 久夫	松井 浩文
3月24日	第45回 ばんえい記念	カネサブラック	(有) トーヨーファーム	松井 浩文

優勝おめでとうございます！！

◆ 第44回イレネー記念（3歳オープン）

単勝2番人気のショウチシマシタが優勝。ナナカマド賞以来となる重賞2勝目を挙げ、世代王者の称号を手に入れました。

午前中に降った雪の影響で、馬場水分は7.6%と軽め。勢いよく飛び出した10頭は一気にトップスピードに乗せ、一目散に第2障害を目指します。フクミツ、ショウチシマシタ、ソウクンボーイあたりが先行するも、ほぼ横一線。各馬ノンストップで障害下にたどり着きました。

真っ先に仕掛けたのはショウチシマシタとセイコークイン。さらにソウクンボーイもこれに反応し、コウシュハウンカイもこれに続きます。しかしショウチシマシタが重量を感じさせない力強い登坂を見せ、先頭でクリア。やや遅れてソウクンボーイも障害を下り、以下セイコークイン、コウシュハウンカイも追撃態勢に入ります。

しかしこの馬場水分だけに先行勢の脚いるも軽快。ショウチシマシタは2馬身半ほどの差を保ったまま歩き続けます。またソウクンボーイも、3番手のコウシュハウンカイとの差をキープ。残り20メートルを切ってからそのままの態勢が続き、結局この3頭で決着しました。

◆ 第34回ポプラ賞（4歳・5歳オープン）

単勝5番人気のニュータカラコマが優勝。11年イレネー記念、12年銀河賞以来となる重賞3勝目を挙げました。

馬場水分は2.1%で、砂煙がもうもうと上がる状態。道中はオイドン、フジダイビクトリーの5歳勢2頭が先行し、ワールドピサ、テンカムソウあたりがこれを追走。各馬ゆったりと歩を進め、第2障害を迎えました。

真っ先に障害下にたどり着いたフジダイビクトリーが登坂を開始し、ひと呼吸置いてワールドピサも仕掛けます。この2頭がそのまま天板まで登り切り、先頭、2番手で障害をクリアしました。やや遅れてテンカムソウ、ニュータカラコマが続く展開。

先頭3頭が横一線で競り合うなか、ニュータカラコマがやや後ろからギャロップで追いつきます。そして並ぶまもなく一気に先頭に躍り出ると、そこは早くも残り10メートル。そのまま押し切って、先頭ゴールを果たしました。フジダイビクトリーとテンカムソウは激しい攻防を繰り広げましたが、0秒5差でフジダイビクトリーが先着。1番人気のワールドピサは、テンカムソウから1秒5差の4着に敗れました。

◆ 第45回ばんえい記念（4歳以上オープン）

単勝1.0倍の圧倒的1番人気でこれが引退レースの**カネサブラック**が優勝。重賞21勝の金字塔を打ち立て、引退の花道を飾りました。

馬場水分は1.8%とやや重めの状態で、ばんえい記念恒例の新旧重賞ファンファーレが鳴り響きました。そろったスタートからゆったりと各馬が第1障害へ。ホッケイヒカルを最後に、まずは障害を突破します。キタノタイショウ、カネサブラック、ホクショウダイヤあたりが馬群をリード。いつも以上に進んでは止まり、進んでは止まり、を繰り返し、ほぼ各馬横一線で第2障害にたどり着きました。

真っ先に動いたのはカネサブラックで、やや遅れてギンガリュウセイも登坂開始。ホッケイヒカル、ホクショウダイヤも果敢に挑み、キタノタイショウも仕掛けます。しかし先頭で天板に脚をかけたのはカネサブラック。少し間を置いたのち、グッと腰を入れると荷物を曳き上げると、次第に馬体が前傾。先頭で障害を突破しました。やや遅れてキタノタイショウもクリア。そしてさらにギンガリュウセイが続きます。

しかし先頭のカネサブラックは残り30メートル付近でいったん脚を止め、これにキタノタイショウが迫る展開。これに勢いよく伸びてきたギンガリュウセイが追いつき、三つどもえの様相を呈します。カネサブラックとキタノタイショウがスピードを生かしてギンガリュウセイを突き放すと、脚を止めているうちにギンガリュウセイが追いつくという、一進一退の攻防。しかしキタノタイショウが脚を止めるインターバルが早くなり、残り10メートルを切ってカネサブラックが単独先頭。ギンガリュウセイが歩き続けて2番手に浮上し、先頭をうかがう勢い。キタノタイショウは脚を出しては止まるという苦しい状況となります。

そして残り5メートル。脚を止めていたカネサブラックに、ギンガリュウセイが並び掛けて前に出ようか、という勢い。しかし、ここからが王者の底力でした。渾身の力を振り絞って歩きはじめたカネサブラックは、一步ごとにギンガリュウセイより前に出始め、わずかに1秒9だけ先に荷物を運び切りました。ギンガリュウセイは王者を苦しめたものの、惜しくも2着。つねにこの2頭に食い下がる勝負根性を見せたキタノタイショウが3着となりました。なお、カネサブラックと同じくこれが引退レースだったナリタボブサップは5着で入線。無事、全馬完走を果たしました。

※ レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。